



感謝状受賞企業等

陸上幕僚長感謝状

【就職援護功労】

株式会社 新発田ガス様

東部方面総監感謝状

【就職援護功労】

株式会社 山里様

第十二旅団長感謝状

【就職援護功労】

株式会社 タツミ様

【募集功労】

佐藤 豊美様



陸上幕僚長より感謝状を受賞する新発田ガス株(取締役社長 佐藤哲也様)

創立五十五周年記念行事  
本部長感謝状

【募集功労】

朝日生命保険相互会社 新潟支社様

J A 佐渡 金井支店様

長岡高等学校様

新潟市自衛隊協力会様

日本生命保険相互会社 新潟支社様

山本 博様

星 祐一様

阿部 アサ子様

宇賀村 邦夫様

小林 忠司様

後藤 守様

高澤 英介様

山崎 鐵男様

横澤 順仁様

渡辺 満行様

【就職援護功労】

沖歯科工業株式会社様

株式会社 上越商会様

株式会社 第四銀行様



東部方面総監感謝状を贈呈された  
株(山重(代表取締役 山崎英治様)

新潟地方協力本部  
創立五十五周年記念行事

平成二十三年十一月二十六日(土)新潟市内に所在するホテルイタリヤ軒において、新潟地方協力本部創立五十五周年記念行事を行った。

式典には、県内の各自衛隊協力団体の長を始め、県内に所在する陸・海・空自衛隊の各部隊長等が出席した。

本部長は、式辞の中で、「諦めない」を統率方針に掲げ、厳しい募集・援護等を取り巻く環境の変化に対応し目標達成への執念と五十五周年を迎えるにあたり、部員一同、再度原点に戻り、今後も新潟県民のみならず、自衛隊内においても信頼され、期待される新潟地方協力本部でありつづけられるよう日々精進していく決意を述べた。

式辞に続き、渡邊廣吉聖龍町長から祝辞をいただき、創立五十五周年を盛大に祝った。

また、募集・援護業務等、新潟地方協力本部の部務運営にご尽力をいただいた、団体及び個人十二名に対し本部長から感謝状と記念の盾が贈呈された。引き続き県内自衛隊協力七団体の主催による祝賀会

が盛大に開催され部内外招きとともに、国会議員、新潟市長(篠田 昭氏)、第三十普通科連隊長(谷 俊彦 一陸佐)、第十三代地連部長(関 肇氏)と多くの方々より祝辞をいただいた。その後、来賓による鏡開きが行われ、新潟県隊友会会長(星野 龍雄氏)による乾杯により、盛大に祝宴が行われた。宴の中盤、航空自衛隊新潟救難隊による越後勢龍太鼓が披露され、宴を一層盛り立て結びは、自衛隊父兄会新潟県連合会会長(早川 澄男氏)の万歳三唱で閉会となった。



祝賀会出席者の前で挨拶する本部長



祝賀会で演奏する越後勢龍太鼓



「ヨイショ」の合図で鏡開き

# 都県募集等連絡会議

## in新潟

平成二十三年十一月十八日(水)、十七日(木)の間、東部方面総監部が主催する平成二十三年度都県募集等連絡会議を支援した。

同会議は、東部方面隊管内の各都県募集事務主任課長に対し自衛隊に対する認識を向上させるとともに自衛隊と各都県の連携強化と、組織募集の促進を図るため、新潟県知事、東部方面総監、内局人材育成課長、三募募集担当の長、東部管内における地本長及び各都県募集事務主任課長等が参加して開催されたものである。

初めに、東部方面総監(陸将 渡部悦和)及び新

潟県知事(泉田裕彦)から挨拶をいただき、前段の会議が開始され東部方面総監部による「自衛隊の現況」及び「自衛隊の募集」の説明、第三十普通科連隊長兼

て新発田駐屯地司令(陸佐 谷 俊彦)から、東日本大震災における第三十普通科連隊の活動状況についての「防災講話」がなされた。各都県募集事務主任課長等は、特に普通科連隊長の防災講話において、テレビ・ニュース等では知ることのできない生の現場の話を聞くことができ非常に参考になった様子であった。

長及び各都県担当者が実施している組織募集のための施策等を相互に紹介することで、より効果的な組織募集の方策について活発な討議が行われ、後段で構成された全体会議は終了した。

会議終了後は、東部方面総監主催の夕食会が開かれ、新潟県副知事、各地本長等、各都県募集事務主任課長等及び新潟県内の自衛隊協力団体関係者の参加を得て盛大に行われた。参加者は当初、交わす言葉も少なかったが、米どころ新潟の特産品である日本酒がすすむにつれて徐々に和やかな雰囲気となり、最後は愛する祖国を守るという崇高な任務を全うするため優秀な自衛官を一人でも多く入隊させようという口々に盛り上がった。

翌日十七日は、新発田駐屯地において、各地本長及び各都県募集事務主任課長等が参加して部隊研修が実施された。研修は全般説明後、二つのグループに分かれて、ロープ訓練・迫撃砲等の操法訓練の見学、

体験試乗、装備品見学及び体験喫食が行われた。特に第三十普通科連隊による一糸乱れぬ装備品の操法訓練展示に参加者が盛大な拍手が送られた。都県募集等連絡会議は、毎年各地方協力本部が持ち回りで会議を支援しており、今年度は、新潟地本が十一年ぶりの担当であった。

募集課では、会議を終えて目的を十分に達成できたものと確信している。今後このような会議を通じて組織募集をさらに強化していく。

**入隊・入校激励会で**  
**「なでしこジャパン」**  
**に会えるかも？**

リハーサルもそこそこ、撮影に臨むとNG一回でOKとなり、W杯の修羅場をくぐってきただけあって本番に強かった。さすが「なでしこジャパン」であった。

企画班長と取材をした企画係 北村三陸曹は、対面した時のスーツ姿からはと

ても世界一になったとは思えないきゃしゃな体つきで、繊細な体から溢れ出すパワーをこれから自衛隊に入隊する若者達に感じて貰いたいと感想を話した。

募集課では、今回作成したメッセージビデオは、新潟から全国の部隊等に入隊・入校する若者達にとって大いなる励みとなることは間違いない。県内各地で実施される入隊・入校激励会で両選手からの激励のメッセージを見て驚く顔を今から楽しみにしている。



挨拶する東部方面総監

軽装甲車に試乗する部隊研修参加者

「重たい！」と防弾チョッキを試着

取材当日、会場にスーツ姿で現れた両選手は、事前に自衛隊の取材であることを知っており、敬礼をしながら笑顔で登場してくれました。今回の取材が初の対面となり緊張していた企画班を「なでしこ」ならではのサービスで和ませてくれる一面もあり、両選手の終始笑顔が絶やさない明るさがW杯優勝の原動力に違いないと、現場にいた全員が確信した。

**平成二十四年幹部候補生・予備自衛官補募集案内**

**幹部候補生(一般・技術・歯科・薬剤科)**  
受付: H24.2.1(水)~4.27(金)まで  
試験日: H24.5.12(土)、5.13(日) 飛行要員希望者のみ  
(受験資格)  
一般・技術: 20才以上26歳未満(22歳未満は大卒(見込含))  
大学院(専門職大学院を除く。)修士取得者は28歳未満  
歯科: 専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満  
薬剤科: 専門の大卒(見込含)20歳以上26歳未満  
※詳細は募集要項

**第1回予備自衛官補(一般・技術)**  
受付: H24.1.11(水)~4.4(水)まで  
試験日: H24.4.13(金)、14(土)、15(日)、26(月)  
※いずれか一日を指定  
(受験資格)  
一般: 18~34歳未満  
技術: 18才以上の国家資格を有する者  
(資格により55才未満~53才未満)

# 合同企業説明会

平成二十三年九月三十日  
 (金)、主催、勅旨衛隊援護協会東京支部、協賛に新潟県自衛隊援護協力会を据えて新潟市ホテルイタリヤ軒で、任期制隊員合同企業説明会を開催した。本年は、参加隊員の企業選択肢を拡大し、就職準備を円滑にするため、例年二会場で行われていた同説明会を一会場に統合し開催。参加したのは、新潟県内に所在する企業五十一社と、新潟県内に就職を希望する陸・海・空任期制隊員等四十七名。

参加隊員は、十一時から新潟公共職業安定所総括職業指導官(岩崎 一氏)を講師とする県内雇用情勢及び再就職に対する心構え、再就職に必要な基礎的教育及び面談の注意事項等について受講。

十三時、満を持して各企業採用担当者等との直接面談開始。例年比二倍以上の企業が集まった会場は、就職を希望する隊員と、良い人材を確保したい採用担当者との真剣勝負に熱気であふれた。

当初、緊張でぎこちない動作が目立った隊員も、時間が経過するにつれ、真剣な表情、躊躇なく希望する企業ブースへ向う姿が目立つようになり、参加隊員に同行する援護担当者にも頼もしさを感じさせるものだった。

援護課は、本説明会は隊員及び企業双方が満足できる援護を行うための重要な機会と位置付け、次年度も最高の環境を提供できるように全力で企画していく。



真剣に企業から説明を聞く隊員

# 陸上幕僚長からの感謝状を即応予備自衛官 雇用企業へ伝達

平成二十三年七月二十七日(水)から八月十日(水)までの間、即応予備自衛官雇用企業へ陸上幕僚長からの礼状の伝達を実施した。

この礼状は、陸上幕僚長が、東日本大震災に伴い予備自衛官等制度発足以来初の即応予備自衛官災害等招集に協力頂いた新潟県内の六十七社に対し、感謝の意を示したものである。

新潟地本では、第四十八普通科連隊所属の即応予備自衛官を管理しており、災害等派遣は、九十五名の即応予備自衛官が四月二十日から同月二十九日までの十日間の招集期間において、被災地である南相馬市にお



火箱陸幕長からの感謝状を伝達した本部長と 新潟総合警備保障株式会社

# 新潟県遺族会総会等支援

平成二十三年十月二十八日(金)から二十九日(土)の間、新潟田市で行われた新潟県遺族会(会長 渡部貞男氏)の総会等を支援した。

同会は、県内出身殉職隊員遺族十二遺族で構成され、遺族の親睦と融和を図り、福祉を増進するとともに、自衛隊の安全・発展に寄与することを目的としている。

総会支援は、遺族援護の中心となる事業の一つで、会の年度運営を決定し、ご遺族の懇親を深める年に一度の貴重な機会である。

本総会に参加したのは、六遺族八名。会長挨拶に引き続き、経費・事業に関する承認・決定、不参加遺族の近況報告、参加者相互の意見交換等総会は整音と行

ける行方不明者の捜索を実施した。

陸上幕僚長からの礼状の伝達を受けた企業からは、「予備自衛官等制度は国民の安全を守ることから重要な制度である。今後とも協力していきたい」と予備自衛官等制度への理解を示すとともに、今後とも同制度への協力を約束した。

援護課は、引き続き県内外の企業から即応予備自衛官制度への協力を得るとともに、予備自衛官等制度の更なる普及に努める。

追悼式は、厳粛かつしめやかに執り行われ、遺族会会長は、「この度の大震災における派遣活動に敬意を表します。そして国防の重責を担う隊員の皆様に感謝します。私も遺族会の願いは、これ以上会員が増えないことです」旨を辞として述べ、式は終了した。

「遺族訪問等で馴染みの皆様、自宅と会場の往復をサポートして下さるから毎年参加できます、本当に感謝しています」との声に代表されるように、高齢となったご遺族にとり、送迎に係る支援は、追悼式参加の可否を左右する重要な支援である。

総会終了後、県内部隊長等現職自衛官七名が参加して行われた懇親会は、開宴に先立ち本部長が遺族援護機関の代表として挨拶、引き続き新潟救難隊長(隊長 一空佐 鮫田 渉)が「先達の教訓が現在の訓練に活かされている。安全管理を徹底し、精強な部隊を育成していきたい」旨を述べ、献杯。ご遺族と各部隊長等は、終始和やかに懇親を深め、第三十普通科連隊長(連隊長 一陸佐 谷 俊彦)が「先達の教訓を無駄にしない」旨の約束をし、納杯となった。

翌二十九日、新発田駐屯地で行われた新潟県殉職隊員追悼式(執行者 谷 一陸佐)には八遺族十名が参加した。

援護課は、殉職隊員の偉業とご遺族の労を称えるとともに、ご遺族に対し、自衛隊の真摯を示すため、今後とも全力で遺族会を支援していく。



懇親会で挨拶する本部長

### 各所・室のオリジナルマーク決定!!

新潟地本は、平成23年創立55周年を迎え、これを記念して各事務所及び各援護室のオリジナルマークを作成することになり、新潟デザイン専門学校と地本がコラボレーションをしてデザインを考案した。特に各隊員が考案したマークの他に同専門学校の学生から約100点のデザインの応募があり、全作品に対し部員全員が投票による選考を実施して優秀作品11点を選出しました。

今後のイベントなどで披露することになりますので楽しみに!!



### NEWたちあがれ!! ポスター



### 愛称を募集中!!

皆さん  
私達に名前をつけてね。  
応募待ってるね♪

新潟地本では、高田地域事務所の青木3曹が新潟県特産の「お米」をモチーフにした妖精を地本マスコットキャラクターとしてデザインしました。この度、マスコットキャラクターデビューに向けて男の子と女の子の愛称を募集中です。

3月31日まで受け付けていますので、奮ってのご応募をお待ちしています。

応募内容は、男の子と女の子の愛称と、どうしてその愛称にしたのか記入し、応募者のお名前・住所・年齢・電話番号を明記の上、「官製はがき」または「電子メール」で応募して下さい。

詳しくは新潟地本ホームページへ。



### 新潟地本ホームページのご案内

知りたい情報  
役立つ情報満載!!



自衛官になりたい方  
自衛隊を応援する企業  
各種イベントの紹介

<http://www.mod.go.jp/pco/niigata/>

新潟地本

検索

### 第11回自衛隊音楽まつりのご案内

自衛隊新潟音楽まつり実行委員会(新潟県自衛隊援護協会、新潟県自衛隊協力会、新潟県隊友会、父兄会新潟県支部連合会、新潟防衛懇話会、新潟県自衛官募集相談員連合会、新潟地本を支える会)が主催する第11回自衛隊新潟音楽まつりが開催されます。

2月25日(土)に上越文化会館、翌26日(日)は新潟市民芸術文化会館 リューとびあで行います。

今回出演するのは、陸上自衛隊中央音楽隊です。同音楽隊は、1951年(昭和26年)6月、陸上自衛隊の前身である警察予備隊の音楽隊として発足し、以来約六十年にわたって日本を代表する吹奏楽団として演奏を行っています。また、国費・公費の歓迎行事での演奏や国家的行事に数多く参加している部隊です。

#### 【総合窓口】

自衛隊新潟地方協力本部  
☎ 025-229-3232



お気軽に  
お電話ください。

#### 【募集に関する問い合わせ窓口】

長岡出張所  
☎ 0258-33-0256  
高田地域事務所  
☎ 025-523-5519  
柏崎地域事務所  
☎ 0257-24-3000

加茂地域事務所  
☎ 0256-52-5222  
新発田地域事務所  
☎ 0254-26-5619  
新潟募集案内所  
☎ 025-246-1881

佐渡駐在員事務所  
☎ 0259-63-4512  
新発田地域事務所  
☎ 0254-26-5619  
新潟募集案内所  
☎ 025-246-1881

#### 【援護に関する問い合わせ窓口】

新発田駐屯地援護室  
☎ 0254-22-3151  
(内線 370)  
高田駐屯地援護室  
☎ 0255-23-5117  
(内線 336)

# 明けましておめでとうございます! 本年も宜しくお願いします



**本部援護課**  
 1列目左より 北村曹長、松本事務官、小池事務官  
 五十嵐1尉、原事務官  
 2列目左より 滝沢1曹、佐藤山事務官、栗原2曹  
 林事務官、阿部1曹  
 3列目左より 千代曹長、佐々木事務官



**本部総務課**  
 1列目左より 渡邊2曹、石沢事務官、古田島1尉、井上事務官  
 丸山副本部長、内山3曹、近藤曹長、北見事務官、首藤准尉  
 2列目左より 星非常勤、阿部准尉、伊佐3曹、村尾事務官  
 田山事務官、行方事務官、伊藤事務官  
 右下 桐生曹長



**高田援護室**  
 左より 田邊曹長、東條曹長、佐藤3佐  
 丸山曹長、佐藤非常勤



**新潟田援護室**  
 左より 神田准尉、小島1尉  
 内藤1曹、佐藤非常勤



**本部広報室**  
 左より 熊倉3曹、小野塚2曹、渡邊3佐  
 山崎曹長、鈴木2曹、小見非常勤



**高田地域事務所**  
 1列目左より 横山曹長、宮藤1尉、佐藤准尉  
 2列目左より 柴野曹長、船谷曹長、青木3曹



新潟地方協力本部創立55周年記念



**新潟田地域事務所**  
 左より 早川2曹、村田2曹  
 近1尉、藤塚准尉、石川2曹  
 左下 阿部1曹



**長岡出張所**  
 1列目左より 児玉准尉、笠原1尉、高嶋1曹  
 2列目左より 藤浦1曹、吉野2曹、渋谷2曹  
 橋本2曹、玄間3曹



**本部募集課**  
 1列目左より 栗山1尉、岡村3佐、園2佐  
 阿部事務官、岡崎事務官  
 2列目左より 見田准尉、曾我非常勤、村山2曹  
 相羽3曹、北村3曹



**新潟募集案内所**  
 1列目左より 田村曹長、高波曹長  
 渡部3佐、齋藤准尉、藤原曹長  
 2列目左より 小林3曹、遠藤曹長、山田1曹  
 塚谷1曹、廣田1曹



**柏崎地域事務所**  
 左より 江口1曹、佐藤曹長、本間非常勤



**佐渡駐在員事務所**  
 左より 小林非常勤、石川曹長、田代3曹



**加茂地域事務所**  
 左より 平井曹長、山形3尉、安藤2曹、上原2曹